

# 流動床式加熱設備

熱技術のCHUGAI ROから

独自コア技術の新分野活用を可能にする新たな提案

ごみ焼却、下水汚泥焼却で培った流動床式加熱技術を高機能材の焙焼やリサイクルプロセスにリニューアル！



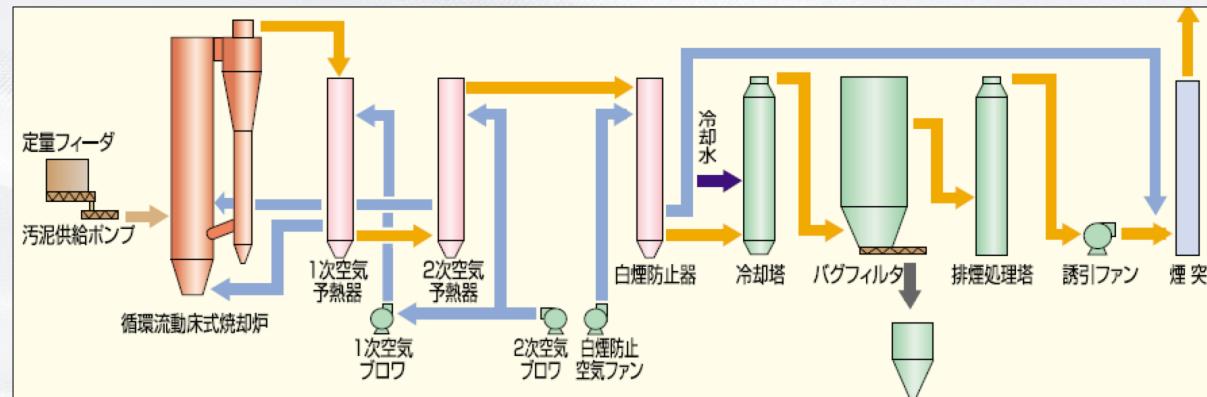
## ■流動床式加熱技術とは

炉内に砂を投入して下部から均一に空気を送ることで砂が流動する流動層を形成し、さらに非加熱物を投入して共に流動化させた状態で加熱処理を行う技術。  
※流動媒体を使用しない無砂式タイプも対応可能です。

この長年使われてきた原理を中外炉工業では30年以上より独自技術に進化させ、すでに多数の実績を有しています。  
そしてさらにこの度、高機能材に求められる新しい加熱機能を開発し、リニューアルいたしました。

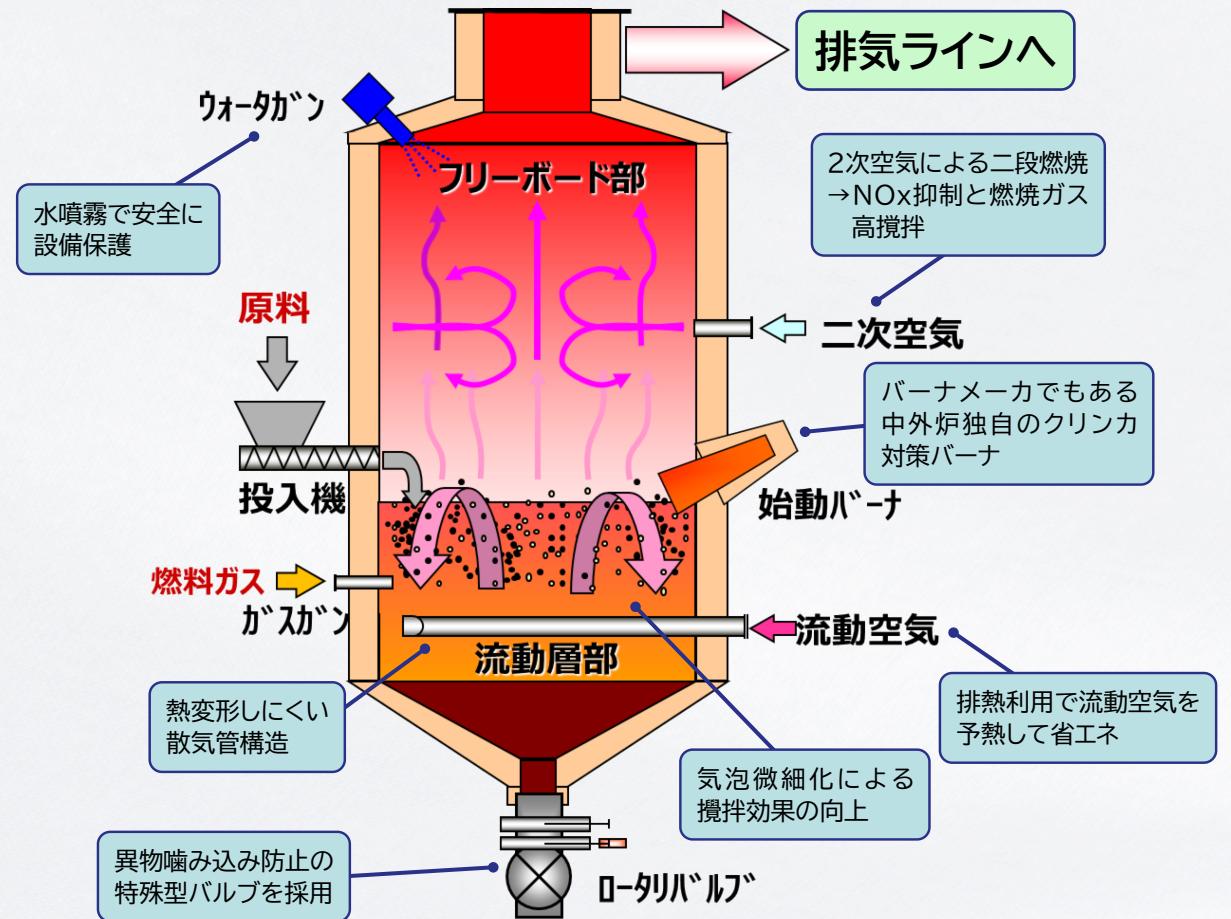
## ■流動床式加熱技術のメリット

- 高燃焼効率・省エネルギー  
高温の流動媒体と非加熱物の良好な混合攪拌で、高い燃焼効率が得られます。
- 小さなフットプリントで大容量処理が可能  
キルンよりコンパクトで、設置スペースの有効活用や設置工期の短縮が可能です。
- クリーンな排ガス  
処理物は流動層とフリーボードで燃焼分解され、COやダイオキシンは発生しません。



システムフロー

## ■中外炉の流動床式加熱技術はここが違う！



## ■リニューアルでさらに用途が拡大

- レアメタルのリサイクル工程(焙焼)
- 高機能材料の有機分除去によるリサイクル工程
- 機能性粉末材料の均一熱処理
- プラスチック製造工程での有機汚泥の焼却除去 など

デモ試験や試験設備の見学も可能です。ご要望、お困りごとなどお気軽にご相談ください。